

令和3年(2021年)6月3日

陸上部 北信越に向けて

■ 藤原 想也 <部長>

昨年、コロナウイルスの影響で練習が出来ない日々が続き、一日一日の練習・1回1回の大会がいかに大切なものを学びました。今年もコロナ禍の中で本当に大会が行われるのかという不安はありましたが、昨年、例年通りに大会が行えず満足に陸上競技が出来なかった先輩達に分まで頑張ろうと、みんなで誓って大会に臨みました。

このような結果を出せたのは、選手達の頑張りはもちろん先生方や保護者の方々のサポートのおかげです。北信越大会ではさらに速い選手・強い選手達と勝負をすることになります。自己ベスト更新やインターハイ出場を目標に大会に臨んで、みなさんへの感謝の気持ちを結果で示せればいいかなと思います。

■ 金古 廉 <800m>

昨年の県新人では、専門の800mで決勝に進んだものの、その舞台でダントツ最下位になってしまいました。さらに4×400mRでは、北信越新人へは進んだものの、そこでも実力不足だと痛感させられました。とても悔しかったです。

それと同時に、来年はもっと強くなって絶対に帰ってくると自分に強く言い聞かせて、その後の冬と春で自分なりに極限まで追い込みました。その成果が出たのか、今年は県大会の800mの決勝で戦うことができ、県5位で北信越大会出場を決めることができました。800mで北信越大会に出場することは初めてなのでとても嬉しく思いますが、これで満足せず、その上のインターハイ出場を目指して頑張りたいです。最後になりますが、このコロナ渦にも関わらず総体が開催されることに感謝します。

■ 田中 快 <走高跳・走幅跳>

(意気込み) 他県の選手の動きを見て学び、良いところを吸収したい。自己ベストを更新してインターハイの枠を勝ち取る!

今までの練習の成果がしっかり出たと強く実感できるパフォーマンスが出来たことが嬉しい。今まで頑張ってきてよかったと思った。

■ 重田 篤希 <棒高跳>

まずは、コロナで大変な時期にもかかわらず大会を開催していただけることに感謝したいです。

去年は思うように結果が出せず、自己ベストタイすら出せずにもどかしい日が続きました。目標としていた北信越新人にも進めず、もっと強くなりたいと思い、自分の弱点を重点的に強化しました。結果として北信越出場を決めることが出来、とても嬉しいです。

悔しい結果に終わってしまったチームメイトの分まで全力で闘い、自己ベストを更新し、さらに上の大会を目指せるように頑張りたいです。

■ 近藤 美波 <1500m・3000m>

今回、北信越大会に出場できることになり心から喜んでいきます。同時に「県大会がおこなえて良かった」「ありがとう」と強く感じるようになりました。

去年、ほとんどの大会がなくなった中、私を走らせていたのは「高校で活躍したい」という思いでした。そのため入部前から照準を合わせていたのは県大会、北信越大会出場でした。そんな1つの目標を達成でき、さらに自分でも驚くベスト更新、テンション的にも体のコンディショニング的にもあがってきています。

まだまだ記録には満足していません。なぜならもっと速く走る人がいるし、自分でももっと速く走れると思っているからです。北信越大会では、応援してくれている仲間やライバルの分まで戦い、更なるベスト更新を狙います！！そしてなにより、サポートしてくれる仲間や大会に参加できることに感謝したいです！！たくさんの人に喜んでもらえる走りをしてきます！

■ 田中 千晴 <5000mW>

北信越大会への出場が無事に決まり、ほっとしています。去年の新人戦で進めなかった悔しさや、先日の県大会で思うように歩けなかった悔しさ、また、出場がかなわなかった仲間の思いを胸に練習します。そして北信越大会では目標を達成できるように、自分に勝てるように歩きます。

今年の新人戦では更に多くの仲間と出場できるように、様々なことを学んで経験を持って帰りたいです。